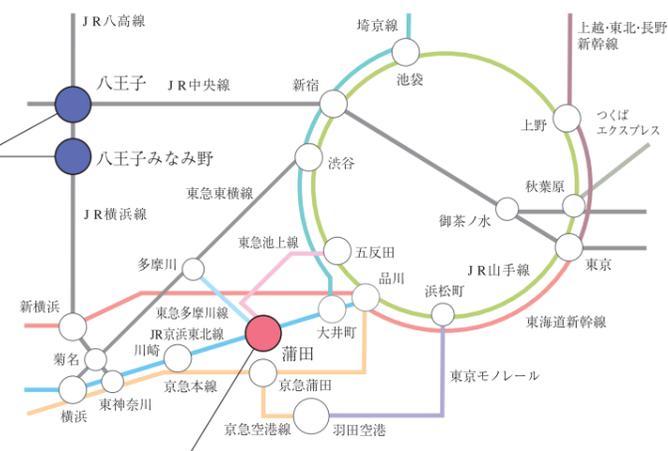


交通案内

八王子キャンパス 図書館棟2階

●交通案内
 JR中央線「八王子」駅南口からスクールバス約10分
 JR横浜線「八王子みなみ野」駅西口からスクールバス約5分
 東京駅から「東京」駅より中央線で「八王子」駅まで約50分
 横浜駅から「横浜」駅より横浜線で「八王子みなみ野」駅まで約47分



蒲田キャンパス 3号館1階 大学事務局内

●交通案内
 JR京浜東北線・東急池上線・東急多摩川線
 「蒲田」駅西口から徒歩2分
 東京駅から「東京」駅より京浜東北線で「蒲田」駅まで約20分
 横浜駅から「横浜」駅より京浜東北線で「蒲田」駅まで約20分

東京工科大学は
 実学主義教育を通して
 サステイナブル社会に役立つ
 人材を育成します

デザイン学部

●デザイン学科

医療保健学部

- 臨床検査学科
- 看護学科
- 臨床工学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科

応用生物学部

●応用生物学科

コンピュータサイエンス学部

●コンピュータサイエンス学科

メディア学部

●メディア学科

求人のお問い合わせは **キャリアサポートセンター**へ

八王子キャンパス
 TEL.042-637-2117
 FAX.042-637-2168

蒲田キャンパス
 TEL.03-6424-2121
 FAX.03-6424-2112

MAIL jm-qjin@stf.teu.ac.jp (両キャンパス共通)

求人申込票は「会社書式」「本学指定書式」いずれでもお受けします。「本学指定書式」は本学ホームページ「採用担当者の方」からダウンロードできます。

<https://www.teu.ac.jp/>

同法人設置校、日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校へのご求人については下記までお問い合わせください。

日本工学院八王子専門学校
 TEL.042-637-3159

日本工学院専門学校
 TEL.03-3732-5610



[八王子キャンパス]
 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1

[蒲田キャンパス]
 〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

併設校 日本工学院専門学校
 日本工学院八王子専門学校
 日本工学院北海道専門学校

2019

東京工科大学のご案内

東京工科大学大学院

バイオ・情報メディア研究科

- バイオニクス専攻
- コンピュータサイエンス専攻
- メディアサイエンス専攻
- アントレプレナー専攻

工学部

- 機械工学科
- 電気電子工学科
- 応用化学科

工学研究科

(2019年4月新設)
 ●サステイナブル工学専攻

明日の社会を見すえ、常に進化を続けています。
東京工科大学

ごあいさつ



学園長 片柳 鴻

科学技術の進展はめざましく、現在の社会のスピードに対応した先端的な知識や技術を体得させるためには、既存の学部や学科の教育で対応することは困難です。このため既存の学部や大学院の改革はもとより、新しい学部や新しいコースの設立を積極的に実現してきました。

「理想的な教育は理想的な環境から」の理念を掲げ、キャンパスの施設及び設備の充実を図ってきました。21世紀の社会に貢献できる有為な人材を育成するため、本学園は今後ともこうした機動的な教育改革を進めていきます。

皆様には東京工科大学からより多くの学生の採用を賜り、さらに新しい次元へと発展していただけますことを心より祈念しております。



理事長 千葉 茂

これからの日本、というよりはグローバル化した現代社会における国際的な変化はこれまでと違い物凄いスピードで訪れ、あらゆるものが新しい価値観や仕組みの中で行われることになるでしょう。この新しい環境で必要な感覚は、総てが繋がった環境を前提として考えることです。

本学の学生は実学主義の方針に沿って、教養と技術に加え、これからの社会に欠かせないICTを活用する技術を身に付けております。企業様、団体様におきまして、学生達が能力を最大限に発揮し、常にチャレンジ精神をもって活躍してくれることと期待しております。

昭和58年 学校法人日本電子工学院(現片柳学園)入職
平成6年 同 副理事長
平成15年 日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校 学校長
平成30年 学校法人片柳学園 理事長



学 長 軽部 征夫

本学が教育理念の中核に定めている「実学主義教育」、それはビジネス社会で活躍できる知識や技術、スキルの学修と社会や技術・スキルがどのように変化してもこれに適応できる柔軟な考えを持つ人材の育成を目標としています。

本学では全学生にパソコンの必携を義務付けており、Moodleによる授業など、コンピュータを積極的に利用した教育を行っています。全学生がICTスペシャリストと言える能力を持っており、国際的な教養を身につけ、自主的・自律的に行動できると思いますので、必ずや貴社の発展のために貢献してくれるものと確信しています。皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶です。

専門分野: バイオテクノロジー・バイオエレクトロニクス
略歴: 東京大学先端科学技術研究センター教授/東京大学国際・産学共同研究センター長/東京大学名誉教授/日本知財学会顧問/フランス政府教育功労賞/バイオセンサー国際賞/文部科学大臣賞/他多数受賞



東京工科大学の教育

アクティブラーニングで、変化に適応していける実践的人材を育成

「実学主義教育——アクティブラーニング」とは、専門分野の基礎をしっかりと教育することで、社会や生活、ビジネスや技術がどのように変化しても、常に適応していける優れた人材を育成することを目標としています。その実践のために、本学では「基本理念」と「三つの具体的理念」を掲げています。

この理念に基づき、次代を担うにふさわしい実践力や創造性、高度なICTスキル、そして国際感覚を身につけた本学出身者たちは、幅広い企業で高い評価をいただいております。

大学生活を単に学問の場とするだけでなく、その先の実社会での活躍に向けて支援する。それが東京工科大学のポリシーです。



八王子キャンパス



蒲田キャンパス

東京工科大学の基本理念 生活の質の向上と技術の発展に貢献する人材を育成する

実現のための三つの具体的理念

1. 実社会に役立つ専門の学理と技術の教育
2. 先端的研究を介した教育とその研究成果の社会還元
3. 理想的な教育と研究を行うための理想的な環境整備

東京工科大学教員の行動規範

東京工科大学の“ONLY ONE”

- 時代の先端分野を学べる独自の学部
- 実践的&ユニークなカリキュラム
- 実務経験豊富な教員ラインアップ
- 外部機関や海外大学との多彩な提携
- 理想を具現化した未来型キャンパス

東京工科大学の“BEST CARE”

入学から卒業、そして就職までの学生への指導&サポートについて、全教職員が一丸となり“BEST CARE”を実現しています。



■実学力=国際教養+批判的思考+創造力

本学では「実学主義教育」に基づき、実社会のニーズに応えられる専門力を身につけた人材を育成してまいりました。これに加え、海外で活躍できる国際教養を身につけ、批判的な思考から問題を発見し、高い創造力で解決できるプロフェッショナルを目指し、教育改革を進めています。学生を実社会の現場に参加させ、働くことや企業・職種を体

験的に理解するための「企業インターンシップ」、ボランティア活動を通して社会を知り、利他的価値観を養成するための「サービスマーケティング」を単位化して実施。さらに、就業力カルテ(実学カルテ)を導入することで、就業についての自己能力を学生一人ひとりが客観的に把握・理解し、目標を設定し、計画的に能力向上を支援する教育システムを採り入れています。

■学部構成とコース制

企業・社会の第一線で、高度な専門性を身につけた即戦力となる人材へのニーズが高まる中、本学では2007年度よりコース制を導入し、より専門教育を実践していく体制を整えています。各コースには、その分野の専門知識・技術を効率的に習得できるように関連する科目をまとめており、将来の進路を明確に意識しながら学習することができます。

本学のコース制は一般的な学科とは異なり、関連する科目の集合体ともいえる柔軟な枠組みです。よって、本学の特徴である「興味ある科目を分野を越えて選べる柔軟な履修システム」も継承。幅広い知識・視野と高度な専門性をバランスよく身につけられる体制としています。

デザイン学部

▶蒲田キャンパス

東京工科大学デザイン学部は、**デザインは実学であることを大切に考えます。**

人に役立つ実践的なデザインの学びの中で、ものの見方や考え方、そして幅広い知識とセンス、スキルを高めます。こうした実学としてのデザイン教育の中で身につけた「集中力」「提案力」「実現力」「取材力」「発想力」「チーム力」を、創造性とチャレンジ精神をもって企業の中で生かせる意欲的な人材を育成します。これらの能力は、企画や開発、そして営業にも役立つものであり、これからは幅広い職種で求められるでしょう。



学部が目指すデザインの力

集中力

モチベーションを高く保ち、手を動かし何度も試し繰り返し考えながら、一歩離れて観察することのできる集中力を身につけます。

提案力

プレゼンテーションでは「伝える姿勢」まで視野に入れ、相手の関心を探り、理解し、それに対して提案するという意識を学びます。

実現力

ものごとを実現するには、問題解決方法の発見、計画性や柔軟な姿勢が必要です。多様な価値を認めるリーダーシップ力を身につけます。

取材力

先入観にとらわれず、自分の足でその場に赴き、自分の眼で確かめ、じっくりと人の話を聞き、そこから課題を分析することを基本としています。

発想力

普段から広い視野の中で問題意識を持ち、源泉となる多様な引き出しを用意し、自分の切り口で組み合わせます。この経験を繰り返し、発想力を鍛えます。

チーム力

グループ制作では、得意分野で分担しながらも、状況を把握し、方向性を振り返る。個人の力を発揮しながら、組織の中で仕事をしていくスキルを学びます。

カリキュラム 学びの流れ

デザインを効果的に学ぶために、1年間を2期に分けたセメスター制と、1年間を4期に分けたクォーター制とを組み合わせ、カリキュラムを構成しています。

3年次から始まる「視覚デザイン」「工業デザイン」の2コースは、デザインの世界における専門分野の入り口を示しています。2コース4専攻でデザインの総合的な視点、横断的な思考力を身につけるとともに、専攻を選択した後は、さらに専門性を高められるカリキュラムになっています。

1・2年次

感性教育

「描く」「つくる」を造形基礎、「伝える」「関係づける」をデザイン基礎と位置づけ、それぞれの課題制作を通して、自らの力で感じ考え、手を動かしながら考察する演習です。

2・3年次

スキル教育

感性教育で養った基礎をもとに、デジタル表現技術として、グラフィック系、映像系、工業系、空間系、Web系、UI系ソフトを習得し、専門分野に進む際に必要なスキルを学びます。

3・4年次

専門教育

感性教育とスキル教育で身につけた基礎力をもとに、工業デザイン、視覚デザインのコースに分かれ、さらに工業、空間、視覚、映像の4つの専攻のいずれかを選択し、デザインの専門性を追求しつつ、幅広い職種に求められる、社会やユーザーの問題を解決できる力を養います。



School of Design

社会で活躍できる力を養うデザイン学部の学び

東京工科大学デザイン学部の特徴は、創造性を育む感性教育と、表現方法を学ぶスキル教育を融合させた、独自のデザイン基礎教育と実践的な専門教育にあります。フィールドワークや学外プロジェクトへの参加など、実践的な学びを通して「学部が目指すデザインの力」を養います。

▶ 視覚デザインコース

● 視覚デザイン専攻

受け手に的確な視覚イメージを伝えるために、グラフィックデザインの手法と技術を身につけます。広告、パッケージ、エディトリアルデザイン、Webデザインやデジタルサイネージなど、紙媒体とともにインターネットやデジタルメディアの特性についても学び、社会におけるコミュニケーションとしてのデザインを提案できる人材を育成します。



● 映像デザイン専攻

メディアの多様化にともない、情報ツールとしての価値、可能性もますます高まっている映像表現の手法と技術の習得を目指します。CM・プロモーションビデオ・Web動画・CG動画制作の企画(絵コンテ)・提案・演出(撮影)・編集・仕上げ・発表までをトータルに学ぶことで、多岐にわたる映像メディアにアプローチできる力を身につけます。



▶ 工業デザインコース

● 空間デザイン専攻

人と人が出会う場としての空間を演出するために、住居や商業施設、公共スペースを中心としたインテリアからディスプレイまで、デザインの背景を考慮しながら、フィールドワークを通して空間表現の発想力と提案力を養います。またプロジェクト全体をリードする幅広い視野とチームとして仕事を達成するための協調性も学びます。



● 工業デザイン専攻

機器、家具、雑貨など、身の回りに必要な製品をデザインするために、多くの人の視点と嗜好を理解したうえで、デザインに取り組むことが重要です。人の暮らしに役立つ生活用品をベースに、コンセプトの設定から設計、製品化までを総合的に学び、未来を見据えた人ともものあり方と新しい形を提案できるデザイン能力を身につけます。



医療保健学部

▶蒲田キャンパス

チーム医療の一員として自立した専門職の視点を持ち、コミュニケーション能力、コラボレーション能力とICTスキルに優れた医療専門職を育成しています。

本学部におけるコミュニケーション (Communication) 能力とは、最適な医療を患者さんとともに選択し、医療事故を防ぐための対話力のことで、この能力の向上を図ります。また、コラボレーション (Collaboration) 能力とは、チーム医療において各医療専門職と協働し、目標を達成できる能力のことで、この能力を幅広く身につけます。

ICTスキルとは、コンピュータ (Computer) のプログラミングの基礎などを学び、ネットワークの活用などを学修するスキルのことで、このスキルを生かした電子カルテや電子情報の伝達・整理に必須なICTリテラシーを習得します。

さらに、医療分野への応用が期待されている人工知能 (AI) や医療IoTを活用できる医療専門職を育成します。

工学系大学の資産を生かした本学部5学科では、この「3C」がこれからの医療の中心を担うと考えています。



▶臨床検査学科

臨床検査データ解析のスペシャリストである臨床検査技師

医療の細分化や検査の高度化が進む現在、臨床検査技師は医療の現場で不可欠な存在です。

1・2年次では基礎教養とともに臨床検査の基礎科目を学び、実習を経験します。3年次の臨地実習では最先端医療を展開する病院と連携し、臨床検査技師の主な業務を体験します。必要な知識、スキルだけでなく、社会人としてのマナーに至るまで身につけます。4年次には卒業研究として興味のある分野で臨床検査に関わるさまざまな研究を行い、その過程で今後の医療人として成長していく礎となる学術的探究心を培います。

臨床現場での実践力だけでなく、さまざまな課題に対する問題解決能力や人間力を養う土壌を育むためにPBL (Project Based Learning; 問題解決型授業)、ルーブリック (Rubric; 評価指標と評価基準を示した成績評価法)、臨地実習前OSCE (Objective Structured Clinical Examination; 客観的臨床能力試験) への取り組みなど細かな工夫がされています。これらの学修を通じて実践能力を養い、医療の現場で的確に行動できる高い人間性を持った人材、臨床検査学の将来の発展に貢献できる人材、社会や経済あるいは技術の変動に適應できる柔軟な人材を育成しています。



School of Health Sciences

▶看護学科

「生きる力」を支え、多様なニーズに応えられる看護

「看護職にとって、患者さんの気持ちに寄り添い『生きる力』を支える役割が最も重要である」と考え、幅広い視点から看護を学べるカリキュラムを実施しています。電子カルテや医療機器の操作に必要なスキルを学ぶとともに、模擬患者による演習では現場を再現した4床の模擬病室を用意し、臨床で同時進行する事態への対応をトレーニングします。

また、学科を越えて連携協働し、ICU等の高度な設備を使いながらの実習など、リアリティ・ショックに対応できる看護を体得させています。医療技術を自主的に確認できるe-Learningシステムや“スキルラボ”も採用したプログラムを組んでいます。

訪問看護や産業看護にも視点を置き、多様な患者さんに対して自分で考え実践できる学生を養成しています。



▶臨床工学科

伝統と実績で、医療の最前線で活躍できる臨床工学技士

本学園が培ってきた臨床工学技士養成教育の伝統と実績を継承しつつ、総合大学としてのメリットを生かし他学部と連携した教育・研究で、先進医療を担う臨床工学技士を育成しています。

専門基礎科目として医学系、工学系の領域を、専門科目として臨床医学、臨床工学の領域を配置し、講義と実習をバランスよく学修する環境を整えています。また高度先進医療や医用工学の研究と臨床工学の最前線から招聘した教員による最新医療への知見を育み、卒業研究などの指導を通じて学士力の充実も図っています。

充実したカリキュラムと首都圏の多彩な医療機関で体験できる臨床実習など、恵まれた実習環境の中で実践能力を高めることで、急速に進歩する医療と社会の変化に対応可能な、向上心と使命感を持つ臨床工学技士を養成しています。





理学療法学科

「豊かな人間性」と「生かせる技術」を持った理学療法士

理学療法学科のカリキュラムは、1年次から臨床実習があり、医療人としての態度や礼節を早期に身につけ、その後の学内教育で高い目的意識をもって取り組めるように構成されています。また、1年次にも積極的に専門科目を配分し、早期から基本的技術や専門知識の修得に努めるなど、卒業してすぐに現場で活躍できることを目指して教育を進めています。4年次には大学における学修のまとめとして卒業研究を主体的に行うことで高い学術的能力を養い、卒業後も科学的根拠に基づいて臨床実践を行える理学療法士の育成を目指しています。

近年は、語学に優れた講師陣の持つ海外とのパイプを生かして、国際的な感覚を持った人材育成にも注力しています。



作業療法学科

知識・技術・実行力を備え、人間性豊かな作業療法士

作業療法の実践に必要な知識と技術を備え、自身の特性と個性を発揮して保健医療福祉の多彩なニーズと多様な場面で活躍できる作業療法士の養成を目標に、教育指導体制を整えています。知識技術の基盤作りを支える学内教育と、早期からの臨床場面、実践場面での体験実習から評価実習、総合実習へと段階的に配置された臨床実践教育が学生教育のコアとなっています。これらは、経験豊かな教員と実績のある協力実習施設との緊密な連携によって進められていきます。少人数体制により実現できる教員と学生の人間関係は、学生の個性と感性を磨き、利用者の立場に立って、お一人お一人のリハビリテーション課題を解決していく専門職の一員となるように学生を育てていきます。



応用生物学部

八王子キャンパス



生体のもつ優れた機能を応用したり、模倣して産業に応用することができる実践的な人材を育成しています。

本学部の実学主義とは

- ① 社会の変化に適応できる人間力を育むこと、
- ② 実社会で活躍するための専門性を育むこと、
- ③ 社会へ羽ばたくための就業力を育むことの3点より成ります。

1・2年生で普遍的で国際的な教養と生物・化学などの基礎科目を学び、豊かな人間性を形成しています。

また、関連する学問領域を学んだ後に、実学に即した4つのコースが用意されています。

生命科学・環境コース、医薬品コース、先端食品コース、先端化粧品コースです。

将来の目標や興味に合わせてコースを選択し、専門的な講義や演習・実習を通して、専門分野を深く追求していきます。

社会から求められる人材になるには「社会人基礎力」が必要です。

本学部では入学直後から計画的にこの力を身につけていく「実践型キャリア教育」を展開しています。

本学では国際的な教養、実学に基づく専門能力、コミュニケーション能力、

論理的思考力、分析・評価能力、問題解決力をラーニング・アウトカムズ(学修の成果)と定めて、

4年間でこれらの能力を身につけます。



生命科学・環境コース

生物が持つ優れた機能を巧みに応用し、医療や環境保全に役立てるための知識・技術を学び、生命科学分野と環境分野に役立つ人材を育てています。「生命科学分野」では再生医療などに利用される生体機能材料や、生体分子と計測技術を融合させた病気診断用バイオセンサーなど、「環境分野」では微生物を使った環境浄化や、遺伝子組換え技術を活用した砂漠の緑化など、バイオテクノロジーを深く学ぶことにより、学生自らが考え試行錯誤と本質を見極める体験を積み重ね、実力と自信を培います。

先端食品コース

人々の健康をサポートする新しい食品の開発および食品の品質管理に、最新のバイオテクノロジーを活用し取り組みます。食品のおいしさや生理機能、安全性を解析し、高齢社会において、人々がより健康的な生活を送るのに役立つ画期的な機能性食品の研究開発を通して、食品製造の最前線で活躍できる実力を伸ばしていきます。化学や生物等の基礎的な科目から、食品科学や栄養科学、機能性食品学といった主要な科目を体得し、専門研究の土台を築きます。

医薬品コース

最先端のバイオテクノロジーを応用して、人々の健康を支える医療システムの開発や、医薬品を創製する技術を追求します。遺伝子組換えや細胞工学技術などの生物学的アプローチに加え、生物と科学との融合による新しい創薬技術など、現在、最も注目されているバイオ医薬品を学び幅広い開発に貢献する技術を身につけます。核酸医薬、タンパク質医薬、遺伝子診断、再生医療、ドラッグデリバリーシステム(DDS)の創製などの研究を通し、専門的な知識や技術はもちろんのこと、困難な問題に直面した時に解決方法を見出すための「対応力」や「柔軟性」も育てます。

先端化粧品コース

皮膚・毛髪と化粧品に関する知識・技術を実践的に学んでいます。皮膚・毛髪科学、美白・抗老化・育毛などの有効成分に関する学術分野と乳液やファンデーションなどの化粧品を設計するための学術分野を体系的に身につけます。教員には化粧品メーカー出身者も含まれ、企業との接点がある研究室も多く、幅広い業界最先端の知識も得られるため、より実践的な学識とスキルを習得した、エキスパートを育てています。

コンピュータサイエンス学部

▶八王子キャンパス



School of Computer Science

幅広い視野・柔軟性・チャレンジ精神を備え持ち、
社会の最前線で活躍し続けることのできるICTスペシャリストを育成します。

21世紀社会の最前線で継続的に活躍できるICTスペシャリストは極めて重要な存在です。高い倫理観と確固たる基礎・基本を備え持つとともに、技術と社会との関わりを深く理解し、幅広い視野のもと柔軟な発想でチャレンジ精神を発揮できる技術者です。このような考えのもと、学生たちはコンピュータの仕組みや計算の原理から先端ICTまでの基礎・基本を順次学び、社会の第一線で活躍できるICTスペシャリストに必要な基礎学力を身につけるとともに、PBLやアクティブラーニングによる新たな学びを通じて、将来にわたって継続的に最先端分野で働くことができる能力を培っています。一方、身につけた技術・知識を実社会で役立たせるためには、学生たちが社会と関わりを持つことも重要です。そのために、本学部では、産学協働型プロジェクトとして、学部を挙げての先進的AI研究プロジェクト、医療IoT研究プロジェクトを積極的に推進し、学生の教育にも反映させています。



▶ コンピュータ・ソフトウェアコース

次代を担うコンピュータシステムの構築や、最新技術を生かした製品の開発に必要な知識とスキルを修得するコースです。OS、クラウド関連の高度なプログラミング知識・技術、セキュリティ、映像・音響メディア処理までを幅広く学び、ソフトウェアおよびハードウェア開発系を中心とするエンジニアを育成します。

▶ ネットワークコース

個人、企業、そして社会全体の活動を便利にする情報通信ネットワーク技術について学ぶコースです。デジタル通信やインターネットの基本技術、ブロードバンドネットワークやモバイルネットワークの先端技術などを幅広く網羅しています。更にネットワークマネジメントの目的や役割、ネットワークの管理・運用するための知識についても実例を交えて学びます。

▶ システムエンジニアリングコース

最先端のソフトウェア開発技術を学び、顧客の要望に応える高品質なシステムを設計・開発する能力を身につけるコースです。ハードウェアやソフトウェア、そしてそれらを統合=インテグレートするスキルを武器に、現代社会を支える多様なコンピュータシステムの開発・管理を実現できる人材を育成します。

▶ 応用情報コース

コンピュータを活用して、より良い未来を創造するための知識を学び、人の心を豊かにする応用情報システムの開発力を養うコースです。人とコンピュータの接点を扱う技術、人の心にダイナミックに作用するゲームプログラミングをはじめ、人工知能やセンサーなど多様な技術を修得し、想像力あるエンジニアを育成します。

メディア学部

▶八王子キャンパス



School of Media Science

急速に進化するメディアの知識と技術・スキルを学修し、
実践力と創造性に優れたメディアエキスパートを育てています。

メディア学を、コンテンツ・社会・技術の3要素から体系的に学びます。それらを通して、デジタルメディア技術とICTの活用も身につけます。メディア学部独自の演習方法である「プロジェクト演習」では、学年を越えたチームで活動し、産学連携のプロジェクトも多いため、企業において必要なコミュニケーション能力や問題解決力も身につけます。キャリア教育には学生同士で評価・分析する課題が含まれており、「批判的思考力」が養われます。また、メディア基礎演習では、コンテンツ制作を題材として技術を学ぶ演習も多く、「創造力」が養われ、問題解決に向けて粘り強く取り組む習慣が培われます。メディア学部では、コンテンツ制作技術だけでなく、人と人、人と社会をメディアによって結ぶ技術や方法論や実践例を著作権の知識も含めて学修し、技術や社会環境が激変しても活躍し続けられる力を身につけます。



▶ メディアコンテンツコース

社会や企業の活動などを豊かに展開させるメディアコンテンツの企画・制作・配信ができる能力を持った人材を育成しています。ゲーム・アニメーション・映像・CG・音楽・Webなどを具体的な対象とし、それらの制作方法や制作技術などに重点を置いて学びます。さらに、高度で優れたソフトウェアを制作の道具として使いこなす演習や研究を通して、具体的な目標に向けてICTを駆使する能力を修得させます。

▶ メディア社会コース

メディアを活用して人と人、人と社会を結ぶ方法と技術を学びます。教育、ソーシャルサービス、ビジネス、SNSなどを支える手法や仕組みを思考する力を身につけます。メディアを利用した教育方法や広告、そのためのコンテンツ開発の技術習得をはじめ、インターネット時代のマーケティングや進化するメディアサービスなどを社会とメディアの接点を多彩な視点で見つめ、革新的な提案を行なえる人材を育成します。

▶ メディア技術コース

メディアの最先端技術を用いて、豊かで便利なメディア社会の実現に貢献する技術を学ぶコースです。コンピュータやスマートフォンを便利に使うインターフェース、双方向通信、グラフィカル・ユーザー・インターフェースなどを専門演習内で学びます。これらの演習を通してアプリケーション・音響・音声対話・ゲーム入出力デバイスなどに関する幅広い知識と技術を身につけ、視聴覚情報処理に関する高度な理論と実践的技術を駆使して多彩なビジネス・産業分野で活躍できる人材を育成します。

工学部

▶八王子キャンパス

21世紀に生まれた新しいコンセプトの「サステイナブル工学」分野を発展させ、応用できる工学スペシャリストを育成しています。

工学部では、3学科での各専門分野の教育とともに、

- ①サステイナブル工学の知識と技術を応用できる能力の育成
 - ②コーオペ教育による実践力と就業力の育成※1
 - ③豊かな教養と国際性を身につけたエンジニアの育成
- という3つの特徴ある実学教育を行っています。

生活を豊かにした20世紀の科学技術の進歩は、一方では資源の枯渇や環境問題なども引き起こしました。

こういった問題を解決するために、21世紀の社会では、新しい発想に基づく新しい技術の開発が強く要請されています。

そこで、環境、産業、人間と調和を保ちながら持続可能な社会づくりを支える新しい工学の「サステイナブル工学」に着目しました。

本学部では、サステイナブル工学の基礎から実践手法まで身につけます。

また、工学英語科目や英語のテキストを用いた専門科目により国際性を身につけ、約8週間の企業等での就業体験を含むコーオペ教育により、サステイナブル工学の実践力、現場での適応力、就業力を身につけます。

※1:コーオペ教育について、詳しくは本誌21ページをご参照下さい。



▶機械工学科

サステイナブル社会を支える先進的な機械システムを構築します。

輸送機器・精密機器・産業用機器、さらにはロボットやマイクロマシン、医療用機器など、機械工学はあらゆる産業や生産活動を根本から支えています。

機械工学科は、機械・電気電子・システムなどの要素技術に関する知識に加え、先進的システムの開発に欠かせない専門的知識と技術を修得する学科です。

機械の強度設計や性能設計に必要な力学、製図などに関する幅広い技術を身につけ、持続可能な社会の実現を目指すサステイナブル工学のコンセプトに基づき、新たな機械システムを創造する人材を育成します。



School of Engineering

▶電気電子工学科

産業や暮らしの未来を最先端の電気電子工学で切り拓きます。

太陽電池や電力ネットワーク、家庭・産業用の電気機器やコンピュータ・AI機器、そして機器に組みこまれた微細な電子部品まで、電気電子工学は電気を使用するあらゆる分野で役立ち、豊かで安心な生活を創造する原動力となっています。電気電子工学科では、電気・電子回路や電気磁気学などからコアとなる基礎科目を学び、さらに電力機器・エネルギー・電子デバイス・センサー工学といったさまざまな専門科目を修得します。この電気電子工学の技術を、持続可能な社会の構築に必要なキーテクノロジーと位置付け、高度な専門知識と技術を追究し、先進的な電気電子システムを創造します。



▶応用化学科

省エネルギーでエコロジークな社会に貢献できる先進的材料を創造します。

化学は、原子・分子レベルで設計・合成を行い、天然にはない優れた機能を持つ先進的材料を生み出します。

応用化学科では、有機・無機・バイオ・高分子などの化学の基幹分野を、サステイナブル工学の観点から協調・融合させて、地球環境や社会に負荷を与えない材料の創造を追究します。また、それらを用いて省エネルギーに貢献する先進的なデバイスやシステムの実現を目指します。

そして化学工業・石油産業、食品・化粧品産業、自動車・電機機器製造業など幅広い分野で、サステイナブル工学の知識と技術を応用して活躍できるような技術者・研究者を育成します。



大学院

▶八王子キャンパス

**実学主義に基づく教育・研究を通じ、幅広い視野・知識・技術を身につけ
チームワークで問題発見・解決できる高度な技術者・研究者を養成しています。**

周知のように、現代はICT(情報通信技術)を基盤とする高度に情報化・国際化された社会であり、多様かつ複雑で日々目まぐるしく変化し続けている近代稀に見る活気ある社会です。このような社会において若者が末長く活躍できるためには、確固たる基礎力・教養力のもと、様々な“技術”の価値・存在意義を、学問的側面からとともに社会・日常生活の側面からも眺め理解することのできる深い洞察力と広い視野を合わせ持つ訓練が重要です。本大学院ではこのような考えのもと、“実学主義”を理念として掲げ、志の高い学生たちに対して、分野横断的な研究プロジェクトに果敢に挑戦するチャンスを提供しています。具体的には、現在東京工科大学で全学をあげて取り組んでいる“人工知能研究会”の各種プロジェクト、例えば、革新材料(セラミック複合材料センター; CMC center)、バイオAI(バイオニクス専攻)、先進AI(コンピュータサイエンス専攻)、メディアAI(メディアサイエンス専攻)、サステナブル工学AI(工学部)などに優秀な学生たちは果敢に飛び込み格闘しています。片柳研究所で産声をあげた日本を代表するCMC(セラミック複合材料)センターをはじめ、先進的学問領域を学生たちとともに切り開きつつある東京工科大学大学院。そこには、若く将来のある学生たちが集い切磋琢磨しています。



▶ バイオ・情報メディア研究科

● バイオニクス専攻

医療・医薬品、食品、化粧品、環境の各分野において、先進的科学技术を取り込んだ新しい知識や価値を創造するチームまたは個人型研究を推進しています。研究手法は化学、生化学、分析化学、細胞生物学、分子生物学、微生物学、生物情報科学等の基礎技術をベースにしつつ、新しい手法の開発にも積極的です。その研究は片柳研究所バイオナノテクセンターに設置の最高水準理化学機器によって強力に推進されており、教員と学生が一体的に取り組む各分野のユニーク研究は、成果として社会への還元が期待されています。この特徴ある教育と研究プログラムによって、本専攻は発想力や協調性の豊かな、そして社会変化にも柔軟に行動する人材を育成します。そして社会で必要とされる人材を輩出します。

● メディアサイエンス専攻

ワークショップ型の講義を中心とし、メディア関連企業・自治体やクリエイターらと連携して、多くの大規模な創造的プロジェクトに取り組んできました。産学・地域連携を図りながら、学生と教員が積極的に議論を交わし、調査・成果発表・制作で専門スキルを身につけます。専任教員や客員教授が実施するプロジェクトへ、インターンシップとして参加する機会も多々あります。デジタルサイネージやモーションキャプチャをはじめとする先端設備を備えているので、確かな技術を取得した人材が育っています。

● コンピュータサイエンス専攻

社会のインフラとして、安心・安全かつ環境にやさしい情報システムの実現に向けて、産業界出身者を交えた教育・研究体制の下、高いコンピテンシーを備える技術者・研究者を輩出する教育に努めています。コンピュータサイエンス・リサーチセンター、クラウドサービスセンターなどの最先端の研究設備を擁し、人工知能の基礎・応用研究、クラウドサービスの実践と研究、および将来の社会インフラの実現に対応できる分野横断のさまざまな先端研究を推進しています。これらの研究を通し、次世代を担う高度IT人材を育成しています。

●アントレプレナー専攻

新規事業の創出・企業内ベンチャー・起業家(アントレプレナー)をキーワードに、バイオニクス・コンピュータサイエンス・メディアサイエンス分野などの最先端技術を事業化する能力を育成します。財務・知財・マーケティングなどの知識をもとに、事業を創造・イノベーションする手法を学びます。講義・グループプロジェクト・研究指導(論文、ビジネスプラン作成)を通し、起業家・ベンチャーキャピタリスト・各分野の専門家などを招聘して討論を行い、院生自身のビジネスプランを具体化させます。



School of Graduate

**新たな研究科が誕生予定。
イノベティブで実践的な研究活動を通じて、
新しい知識の創出と人材教育をめざしています。**

▶ 工学研究科(2019年4月新設)

● サステナブル工学専攻

工学部の柱の一つであるサステナブル工学教育を基盤に、機械工学分野、電気電子工学分野、応用化学分野の知識を横断的に学び、超スマート社会(Society5.0)に対応したIoT(Internet of Things)やAI(人工知能)、ロボット等の幅広い視野で、様々な技術や情報を使いこなし問題解決していく力を修得します。高度な専門知識や技術、コミュニケーション能力、分析評価能力、論理的思考力、実践力を身につけた人材を育成します。

※記載内容は予定であり、変更となる場合があります。



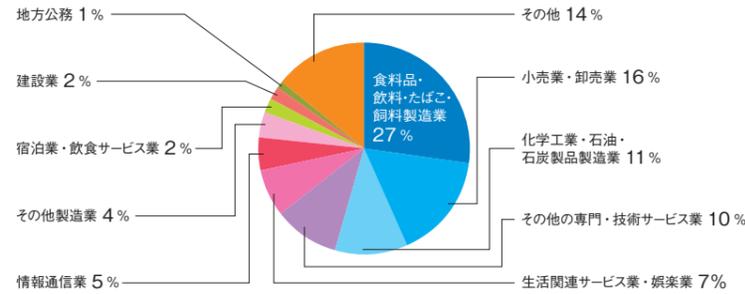
就職実績

就職率=就職決定者数/就職希望者数
 ※工学部は2015年4月設置のため就職実績なし
 ※各数値は四捨五入しています

応用生物学部

業種別就職先 (2017年度)

就職率
2017年度卒業生実績 **97.83%**



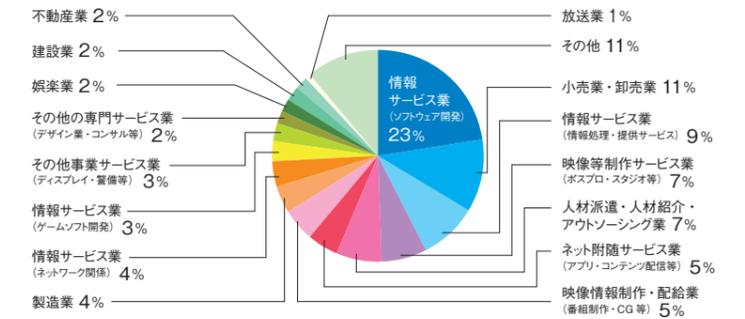
主な就職先 (過年度実績)

アステラス製薬/伊藤ハム/榮太樓本舗/小野薬品工業/オリヒロ/オリンパス/花王カスタマーマーケティング/カネボウ化粧品販売/関東グリコ/紀文食品/キヤノン/杏林製薬/協和発酵キリン/ケンコーマヨネーズ/江東微生物研究所/コーセー/コーセー化粧品販売/資生堂/シャトレーゼ/叙々苑/参天製薬/JR東日本/積水ハウス/ゼリア新薬工業/大正富山医薬品/高梨乳業/ちふれ化粧品/DHC/東京地下鉄/東京みどり農業協同組合/凸版印刷/ナリス化粧品/日本ケミファ/日本水産/ノエビア/ファンケル/フジパンググループ本社/プリマハム/ホクト/HOYA/町田市農業協同組合/万田発酵/三井不動産ビルマネジメント/明治/メニコン/森永乳業/ヤクルト本社/雪印メグミルク/横浜乳業 ほか

メディア学部

業種別就職先 (2017年度)

就職率
2017年度卒業生実績 **94.21%**



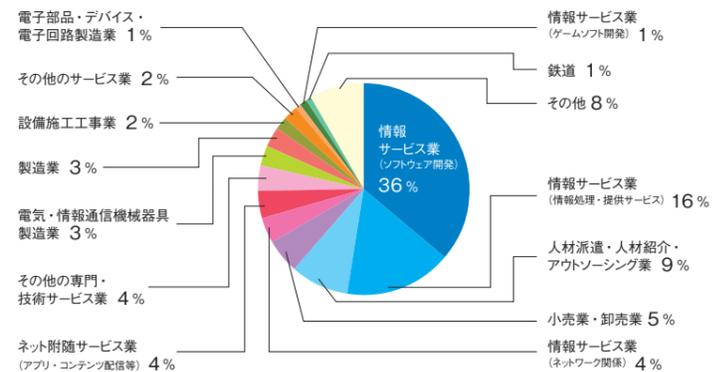
主な就職先 (過年度実績)

秋田テレビ/朝日広告社/伊勢丹/IMAGICA/映像センター/NHKメディアテクノロジー/NTT東日本/KADOKAWA/カブコン/ぐるなび/コスモ・スペース/コナミデジタルエンタテインメント/コロプラ/JR西日本/JR東日本/ジャパンセンター/ブルネット/総合警備保障/ソニー・ミュージックエンタテインメント/損保ジャパン日本興亜システムズ/第一生命保険/大和証券/大和ハウス工業/DeNA/テレビアルファ/電通/東映/東映アニメーション/東芝/東通/東北新社/凸版印刷/ドワンゴ/ナムコ/ニフティ/日本アイ・ビー・エム/日本郵便/ヌーベルバーグ/パイオニア/博報堂アイ・スタジオ/パナソニックホームズ/バンダイナムコゲームス/三井住建道路/メディア22世紀/ヤフー/LINE/楽天/レベルファイブ/ロポット ほか

コンピュータサイエンス学部

業種別就職先 (2017年度)

就職率
2017年度卒業生実績 **97.64%**



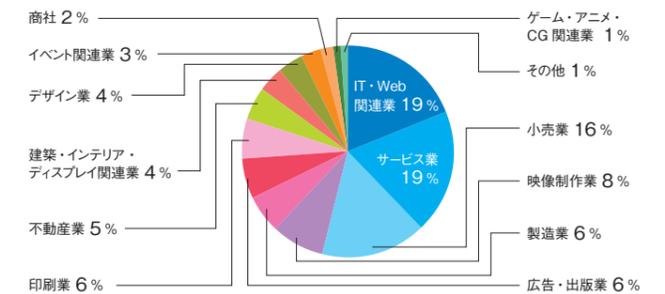
主な就職先 (過年度実績)

NECネクサソリューションズ/NECフィールディング/NECプラットフォームズ/NTTソフトウェア/NTTデータ先端技術/NTT西日本/NTT東日本/グリー/gloops/コナミデジタルエンタテインメント/コロプラ/サイバーエージェント/相模鉄道/JR西日本/JR東日本/JR東日本情報システム/シャープ/住信SBIネット銀行/セガ/ソフトバンク/損保ジャパン日本興亜システムズ/DeNA/東京海上日動システムズ/凸版印刷/ドワンゴ/日本アイビーエム/ソリューション・サービス/日本銀行/日本コムシス/日本電気/日本電気通信システム/日本ビューレット・バックカード/任天堂/博報堂アイ・スタジオ/パナソニックESネットワークス/日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア/日立産業制御ソリューションズ/日立情報通信エンジニアリング/日立製作所/日立ハイテクソリューションズ/日立ビルシステム/富士通/富士通システムズウェブテクノロジー/ミクシィ/みずほ情報総研/三菱電機ビジネスシステム/明治安田生命保険/ヤフー/楽天/リコーITソリューションズ ほか

デザイン学部

業種別就職先 (2017年度)

就職率
2017年度卒業生実績 **94.16%**



主な就職先 (過年度実績)

アソビモ/アットホーム/あたらす二十一/ヴィレッジヴァンガードコーポレーション/荏原印刷/クラウン・パッケージ/クリマテック/ケア21/コスモス薬品/サイバー・コミュニケーションズ/シマ/ジーユー/島忠/スパイク・チュンソフト/チョコレートデザイン/ティー・ワイ・オー/テイクフォー/日本交通/博報堂アイ・スタジオ/ヘルメス/マイナビ/メガネスーパー/ヤフー/リッチメディア/リンク・セオリー・ジャパン/ロフト/ワヨー/アイ・トピア/アルス/伊坂美術印刷/イマジカデジタルスケープ/ウェルカム/エスカドラ/オロ/警視庁/コジマ/GMOインターネット/ゼオ/東京インテリア家具/ティー・ケー・ピー/トラス・テック/ナカバヤシ/ナカヤマ/ニトリ/日本電計/ハウフルス/ビックカメラ/ファミリーマート/フジマック/ブラビス・インターナショナル/ブルーブルーエジャパン/防衛省自衛隊/ポッカクリエイト/ミヨシ油脂/モバージュ/ユザワヤ商事/ユニバーサルホーム/レオパレス21/ローソン/アイダ設計/アイ・トピア/アキレス/アクセア/アート印刷/アマナ/アールピバン/アルファ/くらコーポレーション/ぐるなび/泉放送制作/キッズプロモーション/クロステレビ/弘文社/コマニー/サンドラッグ/ジュン/昭栄美術/スターツコーポレーション/東京サウンドプロダクション/日本創発グループ/帆風/FiNC/富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ/ボルテージ/ポラスグループ/ヨドバシカメラ/読広クロスコム/ラクーン/LITALICO ほか

就職実績

就職率=就職決定者数/就職希望者数

医療保健学部

主な就職先 (過年度実績)

看護師 在原病院/海老名総合病院/大久保病院/川崎市立川崎病院/がん研究会有明病院/関東労災病院/北里大学病院/国立成育医療研究センター/埼玉県立小児医療センター/自治医科大学さいたま医療センター/順天堂東京江東高齢者医療センター/湘南鎌倉総合病院/昭和大学病院/昭和大学横浜市北部病院/聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院/東京医科歯科大学医学部附属病院/東京警察病院/東京慈恵会医科大学附属病院/東京女子医科大学病院/東京都健康長寿医療センター/東京武蔵野病院/東邦大学医療センター大森病院/虎の門病院/都立墨東病院/日本医科大学付属病院/日本大学医学部附属板橋病院/平塚共済病院/三宿病院/三井記念病院/山梨大学医学部附属病院/横須賀市立うわまち病院/横須賀市立市民病院/済生会横浜市東部病院/済生会横浜市南部病院/横浜市立みなと赤十字病院/榊原記念病院/信州大学医学部附属病院/東海大学医学部付属病院/東京医科大学病院/都立大塚病院/都立駒込病院/都立広尾病院/都立松沢病院/横浜南共済病院/亀田総合病院/川崎市立井田病院/九段坂病院/けいゆう病院/公立昭和病院/国立がん研究センター/国立がん研究センター中央病院/山王病院/自治医科大学附属病院/総合新川橋病院/総合東京病院/東京共済病院/東京臨海病院/東京労災病院/都立小児総合医療センター/成田赤十字病院/日本鋼管病院/山形大学医学部附属病院/横須賀共済病院/板橋中央総合病院/NTT東日本関東病院/河北総合病院/川崎幸病院/慶応義塾大学病院/災害医療センター/順天堂大学医学部附属順天堂医院/湘南藤沢徳洲会病院/習志野病院/日本赤十字社医療センター/平塚市民病院/船橋総合病院/横浜市立市民病院 ほか

保健師 特別区(江戸川区)/静岡県熱海市/神奈川県横浜市/神奈川県予防医学協会/東芝ヒューマンアセットサービス/東日本電信電話/富士通 ほか

看護学科

就職率 **98.06%**

2017年度卒業生実績

上尾中央総合病院/岩手医科大学附属病院/小田原市立病院/神奈川県立がんセンター/公立昭和病院/埼玉県病院局/さいたま赤十字病院/自治医科大学附属病院/順天堂大学医学部附属順天堂医院/都留市立病院/東海大学医学部附属病院/東京医科大学八王子医療センター/東京警察病院/東京歯科大学市川総合病院/東京女子医科大学八千代医療センター/東京西徳洲会病院/戸田中央総合病院/東邦大学医療センター大橋病院/西東京中央総合病院/日本医科大学付属病院/日立総合病院/平塚共済病院/春日部市立医療センター/亀田総合病院/川崎幸病院/川崎市病院局/関東労災病院/杏林大学医学部附属病院/済生会栗橋病院/国際医療福祉大学熱海病院/自治医科大学/湘南藤沢徳洲会病院/聖隷福祉事業団/聖路加国際病院/千葉西総合病院/筑波学園病院/総合東京病院/東葛クリニック病院/東京医療センター/東京医科歯科大学医学部附属病院/東京大学医学部附属病院/東京都病院経営本部/東邦大学医療センター大森病院/東名厚木病院/獨協医科大学病院/都立小児総合医療センター/西横浜国際総合病院/日本医科大学千葉北総病院/博慈会腎クリニック/福島県立医科大学/横浜市立大学附属病院/ヨシダ/IMSグループ/NTT東日本関東病院/岡谷市民病院/川崎駅前クリニック/慶應義塾大学病院/古河赤十字病院/さいたま市立病院/信州大学医学部附属病院/新百合ヶ丘総合病院/聖マリアンナ医科大学/善仁会グループ/千葉大学医学部附属病院/東京慈恵会医科大学附属病院/東京都済生会中央病院/戸田中央医療グループ/虎の門病院/横浜市立みなと赤十字病院/ニプロ/日本ライフライン/ロシュ・ダイアグノスティクス ほか

臨床工学

就職率 **92.11%**

2017年度卒業生実績



看護学科



臨床工学科

相澤病院/飯山赤十字病院/穎川医院/村山医療センター/埼玉医科大学国際医療センター/相模原病院/志村大宮病院/JR東京総合病院/介護老人保健施設セントラル大田/玉川病院/虎の門病院分院/筑波記念病院/西蒲田整形外科/日本鋼管病院/練馬光が丘病院/船橋整形外科病院/牧田総合病院/池上総合病院/大宮中央総合病院/春日部中央総合病院/川崎市病院局/川崎協同病院/埼玉メディカルセンター/済生会湘南平塚病院/湘南藤沢徳洲会病院/新東京病院/新百合ヶ丘総合病院/総合川崎臨港病院/総合東京病院/竹口病院/鶴川サナトリウム病院/東京西徳洲会病院/新座病院/日本赤十字社医療センター/ねりま健育会病院/浜田山病院/船橋総合病院/平松整形外科クリニック/間中病院/みどり野リハビリテーション病院/武蔵村山病院/済生会横浜市東部病院/横浜なみさリハビリテーション病院/上尾中央医療グループ/綾瀬厚生病院/IMSグループ/医療生協さいたま/医療法人社団三水会/大森赤十字病院/一般社団法人巨樹の会/慈誠会徳丸リハビリテーション病院/品川リハビリテーション病院/社会医療法人河北医療財団/社会福祉法人聖隷福祉事業団/湘南慶育病院/セコメディック病院/総合病院土浦協同病院/袖ヶ浦さつき台病院/苑田第一病院/台東区立台東病院/千葉大学医学部附属病院/千葉西総合病院/つくばセントラル病院/戸田中央医療グループ/富士宮市立病院/町田慶泉病院/武蔵野赤十字病院/済生会若草病院 ほか

理学療法

学 科

就職率 **100%**

2017年度卒業生実績

上尾中央総合病院/麻生リハビリ総合病院/朝倉病院/イムス横浜狩場脳神経外科病院/宇治おうばく病院/大内病院/大野中央病院/鹿教湯リハビリテーションセンター鹿教湯病院/上白根病院/川崎協同病院/圏央所沢病院/小金井リハビリテーション病院/さがみリハビリテーション病院/桜ヶ丘中央病院/品川リハビリテーション病院/新戸塚病院/台東区立台東病院/多摩丘陵病院/鶴巻温泉病院/羽生総合病院/日向台病院/淵野辺総合病院/森山記念病院/八千代リハビリテーション病院/社会医療法人河北医療財団/横浜市立脳卒中・神経脊椎センター/済生会湘南平塚病院/北原国際病院/江東リハビリテーション病院/国際親善総合病院/埼玉病院/埼玉協同病院/埼玉みさと総合リハビリテーション病院/世田谷記念病院/千葉メディカルセンター/東葛病院/東大和病院/三郷中央総合病院/緑生会病院/初台リハビリテーション病院/一般社団法人巨樹の会/関東労災病院/久喜すずのき病院/埼玉セントラル病院/慈雲堂病院/湘南藤沢徳洲会病院/新横浜リハビリテーション病院/鶴川サナトリウム病院/根岸病院/福井記念病院/船橋市立リハビリテーション病院/武蔵野赤十字病院/横浜栄共済病院 ほか

作業療法

学 科

就職率 **100%**

2017年度卒業生実績

板橋中央総合病院/いわき市立総合磐城共立病院/江戸川病院/奥沢病院/海上ビル診療所/上六ツ川内科クリニック/川口市立医療センター/京都中部総合医療センター/けいゆう病院/越谷市立病院/静岡市立静岡病院/自治医科大学/順天堂大学医学部附属順天堂医院/城北病院/新宿健診プラザ/新東京病院/セコメディック病院/高根病院/千曲荘病院/千葉県循環器病センター/つくばセントラル病院/TMGあさか医療センター/東葛病院/東京医科大学病院/東京慈恵会医科大学附属病院/平塚市民病院/大和市立病院/横浜市立みなと赤十字病院/アイル/E.P.総合/エスアールエル/LSIメディエンス/江東微生物研究所/昭和美メディカルサイエンス/新日本科学PPD/戸田中央臨床検査研究所/トライアングル/ビー・エム・エル/保健科学研究所 ほか

臨床検査

学 科

就職率 **96.88%**

2017年度卒業生実績



理学療法学科



作業療法学科



臨床検査学科

出身

都道府県別出身者一覧

2020年3月卒業・修了見込学生数(2018年11月1日現在)

		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県
工学部	機械工学科		1			1	1			2	5	17	1	31	15					5	3		1				1		1			
	電気電子工学科	1	2	1				1	3	1		18	4	31	26	1	2	1		3	2		1	1								
	応用化学科								3	1	1	14	4	33	14	1				1	1		2									
応用生物学部		2	1	1	5	1	4	8	9	5	4	37	7	60	60	5	2		1	4	9		8	4	2					2		
コンピュータサイエンス学部		1	2	2	2	2	3	8	12	7	10	56	9	84	57	4	2		1	8	11	3	10	2	1	1	1	1			1	
メディア学部		3	2	4	6	2	4	5	13	13	11	40	10	88	62	6	2	2		10	8		17	1	2	1	2		1		1	
デザイン学部		2	2		2			4	3	3	5	27	22	65	41	6				2	3	2	4		1				1			
医療保健学部	臨床検査学科	1	2					1	7		3	10	14	9	13	1	1			1	6		1					1				
	看護学科				1			1	5	1	1	3	8	36	33		1				2		7		1			1				
	臨床工学科		2		1		1	2	2	3	2	13	6	18	15	2			1	3	4	3	2	1					1			
	理学療法学科							2	7		3	14	3	20	22	1				1	2		2									
	作業療法学科							1	2		1	6	2	6	10							5		2								
大学院		1	1					1	3	1	1	9		13	12						2	1		4					1			

		島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	小計
工学部	機械工学科		1					1						1	1			89
	電気電子工学科			2			1	1										103
	応用化学科																	75
応用生物学部				1	3					3	1	2	1		2			254
コンピュータサイエンス学部				2				4		1	1		1		2	3		315
メディア学部		1	2	2	2	2	1	1		1		2	1		1	1		333
デザイン学部					1	1	1		1	1	1				1			202
医療保健学部	臨床検査学科						1				1		1		1		1	76
	看護学科															2		103
	臨床工学科																1	83
	理学療法学科				1					1						1		80
	作業療法学科			1														36
大学院					1			1				1	1	1				55

海外	中国	台湾	韓国	ベトナム	マレーシア	タイ	サウジアラビア	UAE	グアテマラ	アメリカ	スウェーデン	小計	合計
	1				3							4	
1				1							2	105	
1											1	76	
5											5	259	
1		2		4		5	5				17	332	
3	1	1		3	2	1		1			12	345	
1											1	203	
			1								1	77	
2			2								4	107	
											0	83	
											0	80	
											0	36	
36	1					3	3	2			1	46	101

1796名卒業・101名修了見込

コーオペ教育

コーオペ教育とは何か

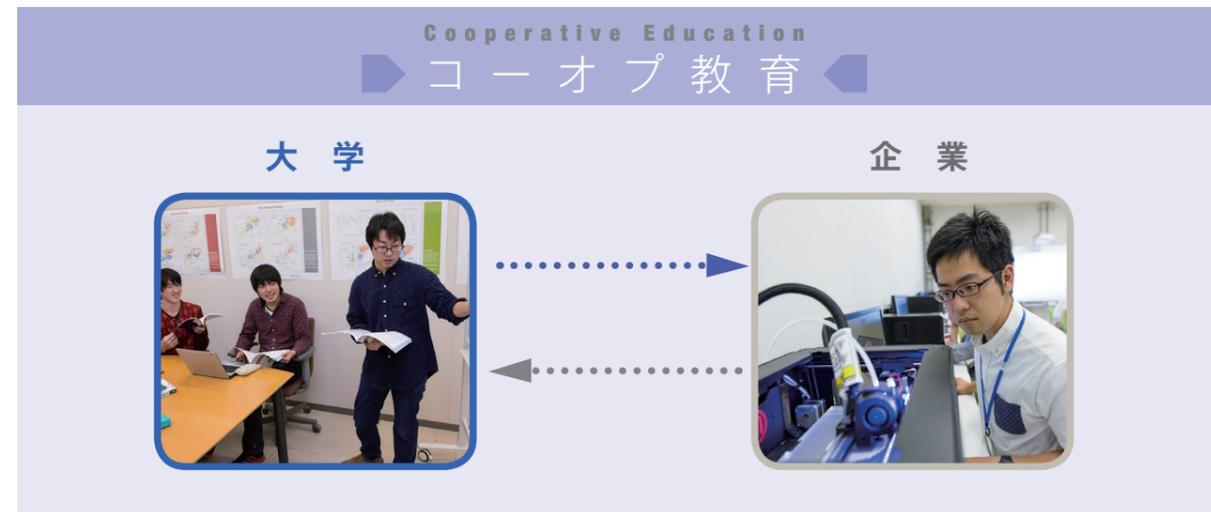
大学と企業が連携し、学生の実践力を養成する教育プログラムです。

コーオペ教育 (Cooperative Education) とは、1906年に米国シンシナティ大学工学部で「学内の授業プログラムと学外の就労体験型学修プログラムを交互に受けるカリキュラム」が開発されて以降、米国、カナダ、欧州で盛んに取り入れられている教育プログラムです。

学生は、一定期間企業で働くことで就業経験と労働賃金、大学の単位を修得するとともに、実践力や総合的な社会人基礎力を身につけることができます。

東京工科大学は実学主義を教育の柱としています。実学主義教育の実現のために、平成27年4月に開設した工学部では、必修科目としてコーオペ教育を行います。

日本ではまだ新しいこの教育方法により、学生は大学内での授業とは違う実践的な教育を受けることができます。また、企業での就業経験後は、学修意欲や就業意識の向上が期待されます。



コーオペ教育とインターンシップ

コーオペ教育は、新しい実学的な教育プログラムです。

大学等におけるインターンシップは、「学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度」であり、その形態は、①正規の授業科目とする場合、②課外活動など大学における活動の一環とする場合、③学生が個人的に参加する場合に分かれます。

わが国では昨今、若者の離職率の増加や職業定着率の低下などが見受けられ、学生の主体的な職業選択や高い職業意識の育成が重要な課題となっています。

東京工科大学のコーオペ教育では、コーオペセンターが管理・運営を行い、企業が積極的に教育に関わることで、企業ニ

ズが反映された産学協働実習プログラムを構築します。通常のインターンシップと比べて、就業期間が長期間(約2ヵ月間)である点、企業の一員として就業するため事前・事後の教育を実施し、学生に対し賃金が支払われる点が大きな違いと言えます。

東京工科大学コーオペ教育プログラムを通じて、学生は働くことの価値観を醸成し、協働で作業する力や責任ある主体的な行動力を養うことで、学修意欲の向上や就業意識の育成につながります。

お問い合わせ先 東京工科大学コーオペセンター

TEL.042-637-2126 E-Mail tk-coopinfo@grp.teu.ac.jp

東京工科大学卒業生 (OB・OG) 登録のお願い

東京工科大学もお陰様で2016年に創立30周年を迎え、各分野で卒業生が活躍しております。

しかしながら、ご採用いただいた企業様、本学卒業生と在学生の係わりはまだまだ少ないと感じております。

そこで、今後のご縁を長くいただきたいとの考えもあり、

貴社にて活躍中の卒業生と在学生との係わる機会を増やしたいと考えております。

貴社ご採用担当様と一緒に、または卒業生だけでも、ご協力いただき、卒業生からのアドバイスや講演、模擬面接、業界セミナー、企業見学、OB・OG訪問etcでご協力いただければと存じます。

イベント毎に、適任な業種・職種の企業様(卒業生)へお声掛けし実施したいと存じます。

連絡の際は、登録いただきました担当様へご連絡を申し上げます。

また、卒業生の業務に支障が無いよう配慮いたします。

是非、下記サイトから「東京工科卒業生登録用紙」をダウンロードいただき、

必要事項をご記入いただき登録いただければと存じます。

主旨ご理解の上、ご協力の程宜しくお願いいたします。

東京工科卒業生 (OB・OG) 登録用紙掲載先

東京工科大学HP→採用担当の方→求人申込み、卒業生「OB・OG」登録のご案内

<https://www.teu.ac.jp/employment/006472.html>

申込みは、登録用紙をメール又はFAXでお送りください。

メールアドレス: jm-qjin@stf.teu.ac.jp

件名は、「東京工科大学OB・OG登録」でお送りください。

FAX: 03-6424-2112

送付状なしで「東京工科大学卒業生 (OB・OG) 登録用紙」のみお送りください。

問い合わせ先

東京工科大学 蒲田キャンパス キャリアサポートセンター

TEL: 03-6424-2121

東京工科大学 八王子キャンパス キャリアサポートセンター

TEL: 042-637-2117

「自己申告書」と「青少年雇用情報シート」の提供をお願いいたします

『青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進法)』の施行に伴い、以下2点のご提供をお願いいたします。

1 「自己申告書」のご提供

平成28年3月1日に施行された「労働関係法令違反の事業主に対する、ハローワークの新卒者向け求人票の不受理」を受け、

求人票をお送りいただく際に「自己申告書」のご提供を必須とさせていただきます。

2 「青少年雇用情報シート」のご提供

同法の施行により「青少年雇用情報シート」のご提供が努力義務となりました。

上記2種の書類のご提供がない場合、求人票を受理できない場合があります。

詳しくは厚生労働省のホームページ

[<https://www.mhlw.go.jp/>] にてご確認ください。

自己申告書

青少年雇用情報シート